

京都市感染症発生動向調査 感染症週報

2023年第50週（12月11日～12月17日）

京都市感染症情報センター（京都市衛生環境研究所）

<https://www.city.kyoto.lg.jp/menu3/category/41-6-0-0-0-0-0-0-0-0-0.html>

◆ 今週のコメント

インフルエンザの定点当たり報告数は、本市24.03（前週22.96）と増加し、全国29.94（前週33.72）と減少しましたが、全国では前週の第49週には警報レベルの目安とされる「30」を超えています。
新型コロナウイルス感染症の定点当たり報告数は、本市3.36（前週2.74）、全国4.15（前週3.52）で、ともに増加しました。
インフルエンザを含め、他の感染症も増加傾向にあります。年末年始を迎え、帰省や旅行、イベントなど外出の機会が増えるため、手洗い、咳エチケットなどの感染予防対策に努めましょう。

◆ 主な定点把握感染症の報告状況（5類感染症）

定点種別	定点数	感染症名	定点当たり報告数		
			今週	前週	前々週
インフル/COVID-19	69	インフルエンザ	24.03	22.96	16.45
		新型コロナウイルス感染症(COVID-19)	3.36	2.74	2.33
小児科 (多い順に5位まで)	43	1. 感染性胃腸炎	5.91	4.49	4.47
		2. A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	4.28	4.35	3.77
		3. 咽頭結膜熱	2.81	3.88	3.37
		4. 手足口病	0.35	0.30	0.19
		5. 水痘	0.16	0.14	0.12
		5. ヘルパンギーナ	0.16	0.16	0.05
眼科	10	流行性角結膜炎	0	0.60	0.50

定点把握感染症の詳細は次ページ以降に掲載しています。

◆ 全数把握感染症の報告状況（第49週以前の追加報告分を含みます）

2類感染症 結核 9例（本年累積229例）

今週追加9例内訳(肺結核6例、その他結核2例、潜在性結核感染者1例) うち喀痰塗沫陽性1例

本年累積229例内訳(肺結核101例、その他結核55例、潜在性結核感染者73例) うち喀痰塗沫陽性37例

4類感染症 レジオネラ症 1例（本年累積24例）

5類感染症 カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 1例（本年累積38例）

5類感染症 後天性免疫不全症候群 1例（本年累積9例）

5類感染症 侵襲性肺炎球菌感染症 2例（本年累積28例）

5類感染症 梅毒 2例（本年累積105例）

◆ 今週のトピックス：侵襲性肺炎球菌感染症

京都市では、侵襲性肺炎球菌感染症の報告が第50週に2例あり、本年の累計報告数は28例となりました。詳細はトピックスに掲載しています。

◆ 次ページ以降の内容

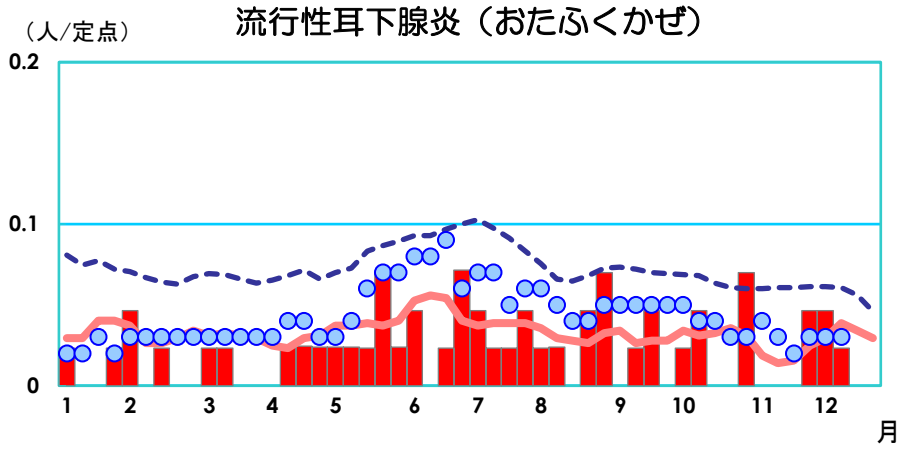
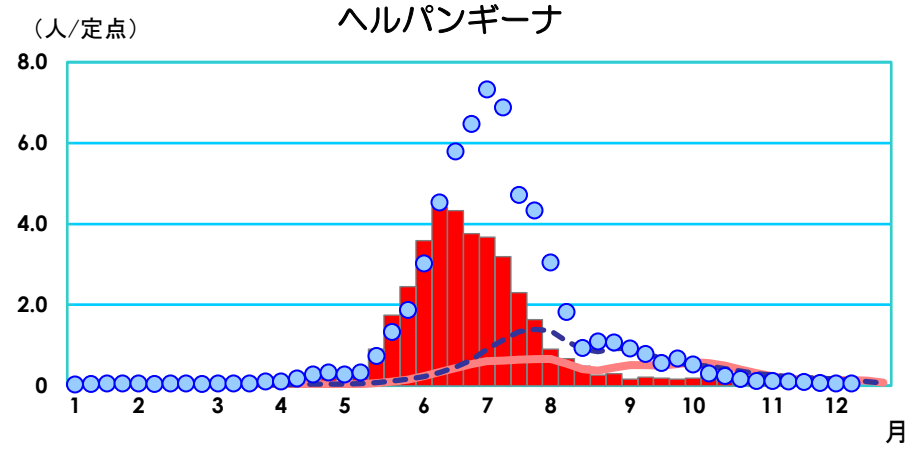
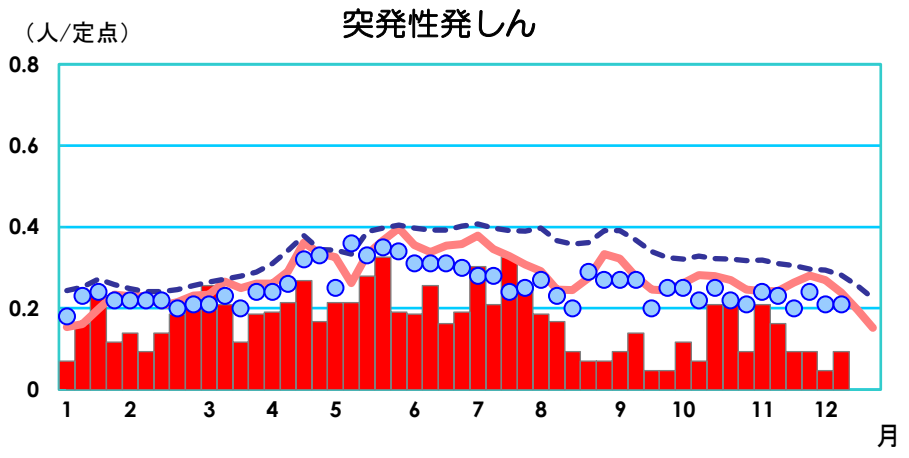
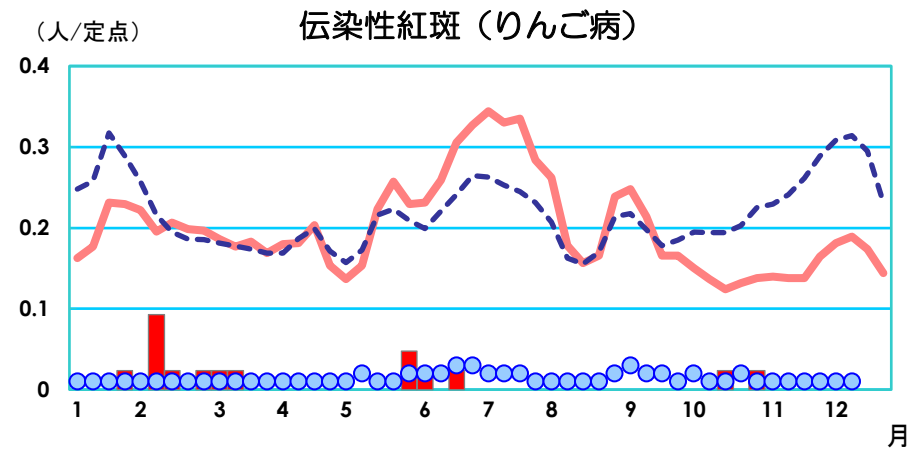
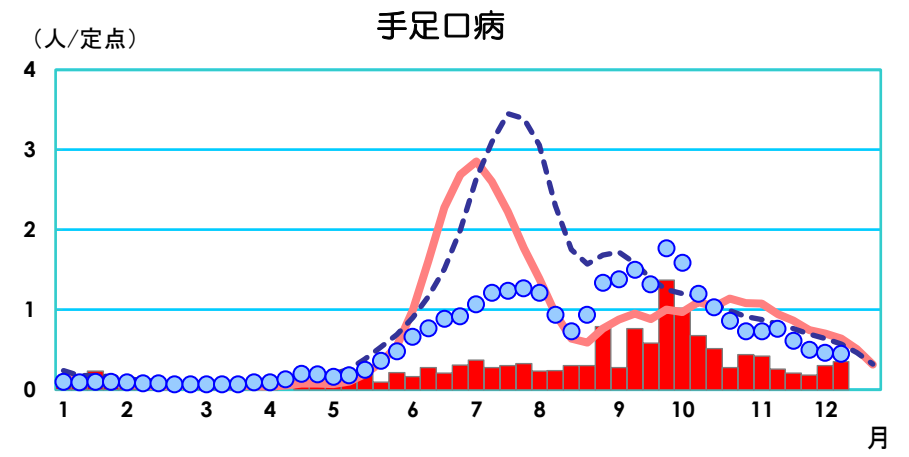
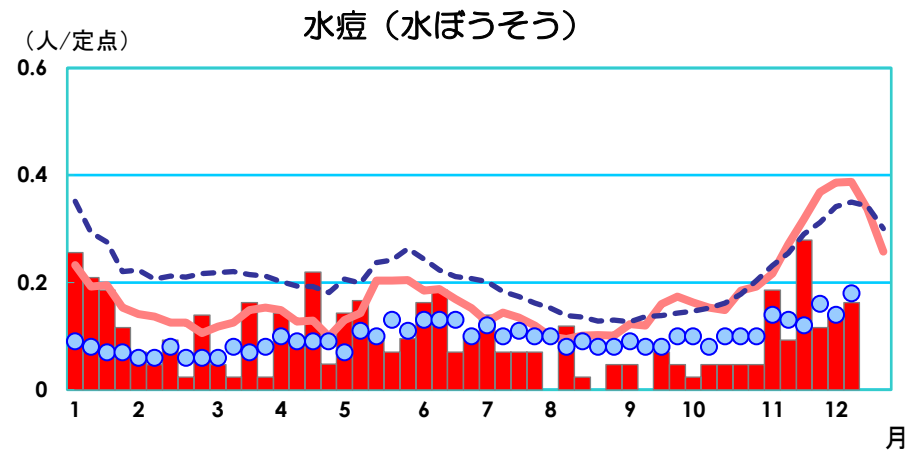
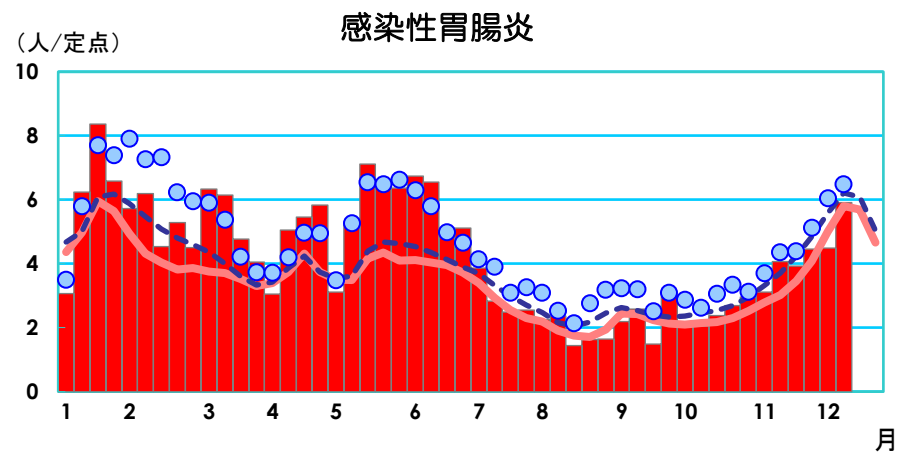
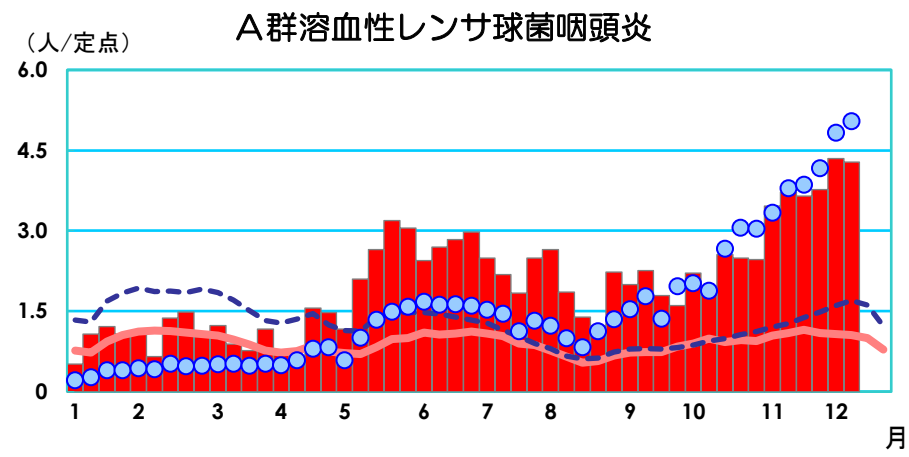
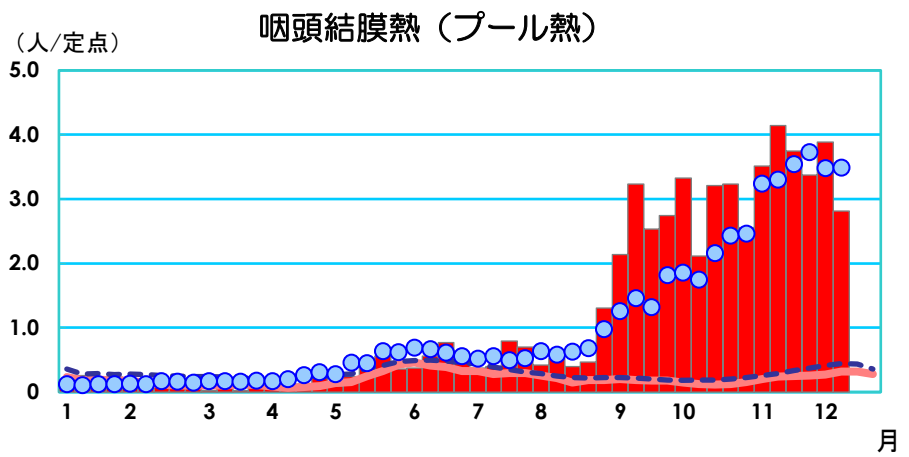
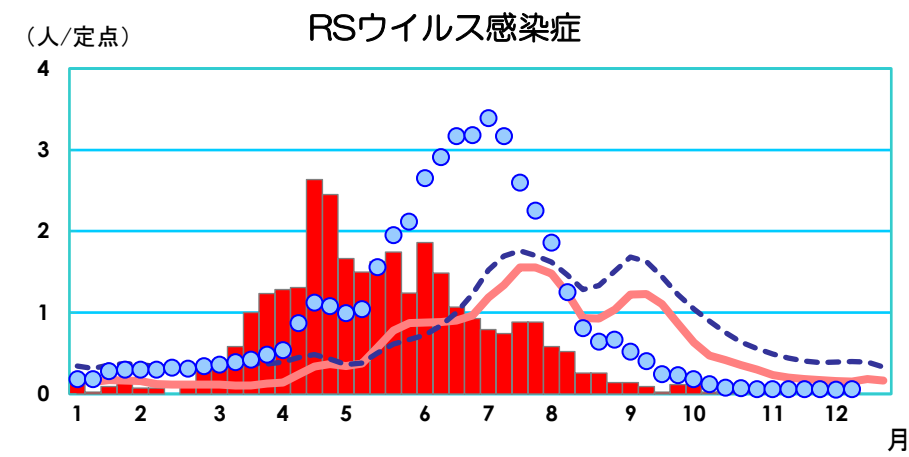
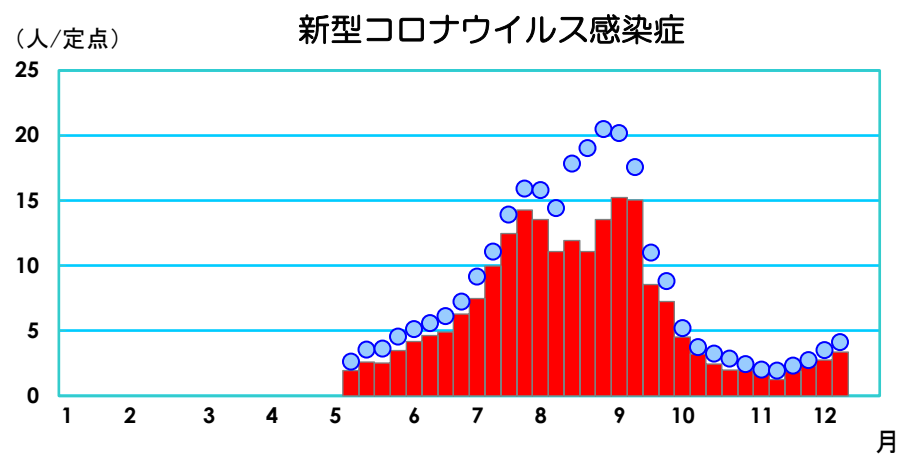
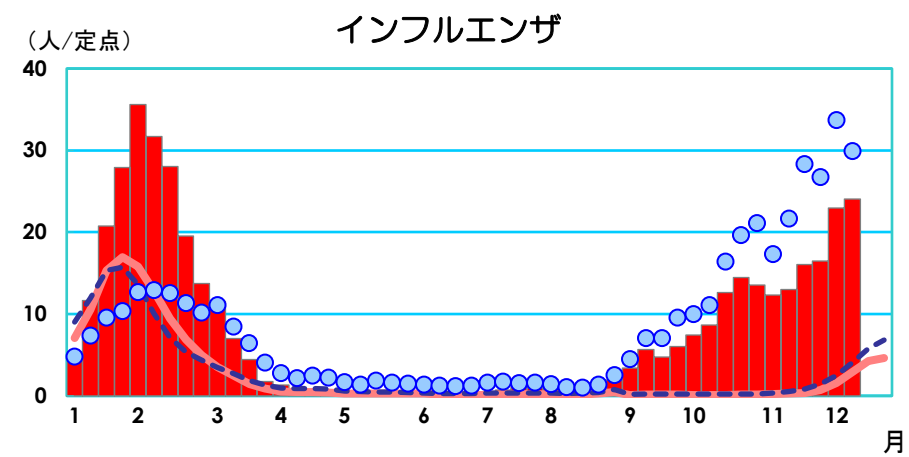
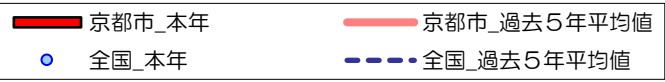
- ・インフルエンザ/COVID-19及び小児科定点把握感染症の疾病別推移グラフ
- ・インフルエンザ/COVID-19及び小児科定点把握感染症の発生状況地図
- ・全数把握感染症の感染症別月別発生状況
- ・トピックス
- ・インフルエンザ/COVID-19、小児科、眼科、基幹定点把握感染症の行政区別報告数、定点当たり報告数
- ・インフルエンザ/COVID-19、小児科、眼科、基幹定点把握感染症の年齢階級別報告数、定点当たり報告数
- ・インフルエンザ/COVID-19、小児科、眼科、基幹定点把握感染症の過去10週推移
- ・インフルエンザ/COVID-19、小児科、眼科定点把握感染症の全国推移

京都市のデータは、2023年12月20日現在の報告数で、全国の還元データと若干異なる場合があります。

本情報での患者数は、届出医療機関所在地での集計で、患者の住所を示すものではありません。

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）は紙面の都合等により、新型コロナウイルス感染症、COVID-19、COVID-19と記載している箇所があります。

インフルエンザ及び小児感染症の疾病別推移グラフ（2023年）



インフルエンザ及び小児感染症の発生状況地図【2023年 第 50 週】

発生なし

発生あり

注意報

警報

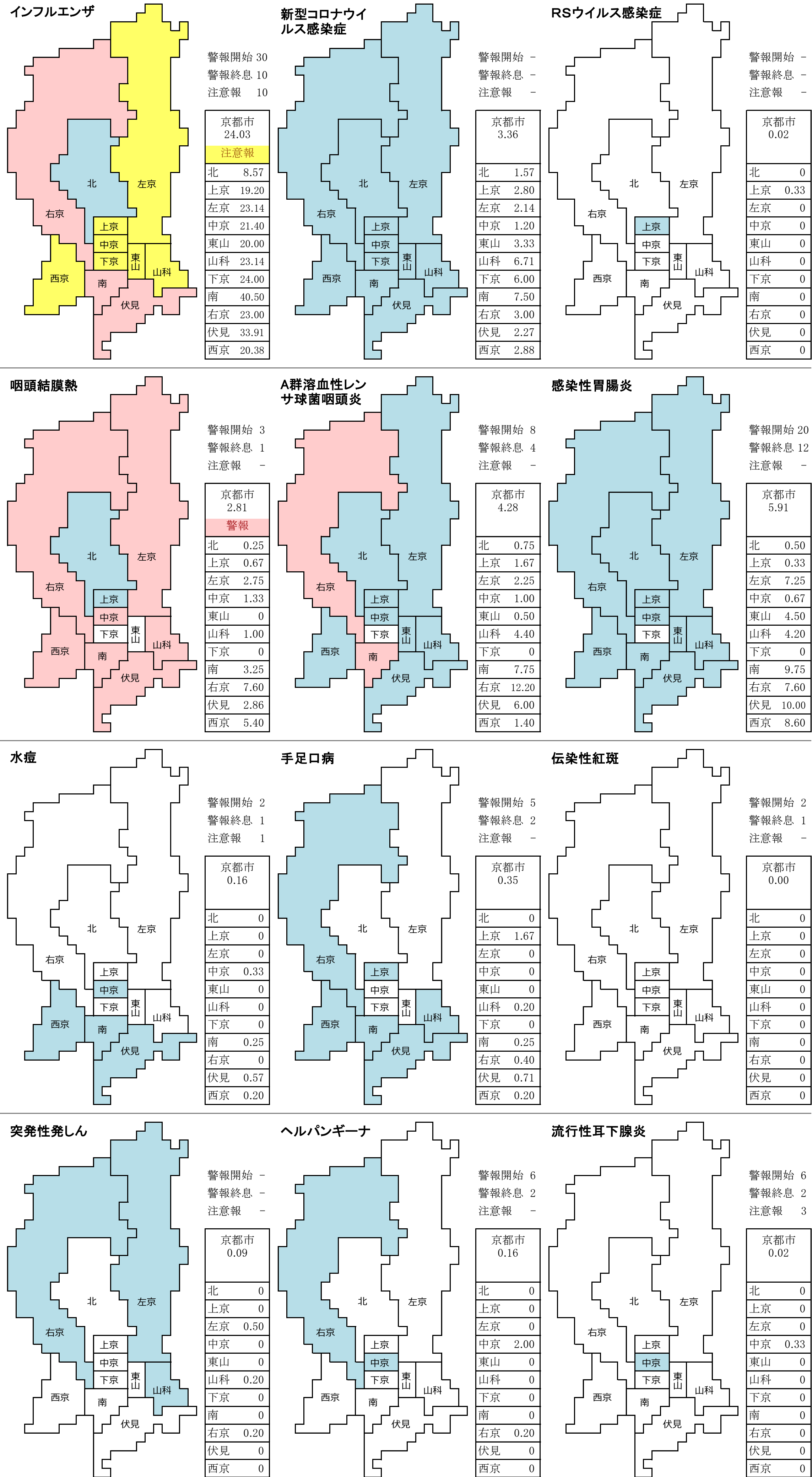
（注意報及び警報の基準値は感染症）

（右側に表示（「-」は設定なし））

※定点医療機関の所在地に基づいた集計結果であり、立地条件や規模の大小の影響を受ける場合があります。

※警報・注意報の目的は、公衆衛生上の資料として自治体衛生主管部局・保健所等の衛生行政機関専門家に

注意喚起することにより、広く一般に向けて発出されるものではありません。



第50週(12月11日～12月17日)トピックス:<侵襲性肺炎球菌感染症>

京都市では、侵襲性肺炎球菌感染症の報告が第50週に2例あり、本年の累計報告数は28例となりました。本感染症は「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」に基づく5類全数把握疾患に追加され、診断した医師は7日以内に届出を行わなければなりません。5類感染症として規定された2013年4月以降の年間報告数の推移を見ると、京都市では2016年まで増加し、その後は70例前後でほぼ横ばいでしたが、2020年には25例に減少し、2023年現在は28例となっています。全国においても2020年に大きく減少し、それ以降も昨年まで減少が続いていましたが、本年は増加に転じており、今後の発生動向に注意が必要です(図1)。

年齢階級別でみると、最も多いのは70歳以上で全体の47%、次いで60歳代が18%であり、60歳以上で全体の65%を占めています。また、0歳は3%、1～4歳は14%をあわせて17%となっており、5歳未満と60歳以上の年齢層を中心に患者が発生しています(図2)。

侵襲性肺炎球菌感染症の原因菌は肺炎球菌(*Streptococcus pneumoniae*)です。乳幼児の鼻咽頭に高頻度に検出され、中耳炎や肺炎等の原因となります。感染経路はせき・くしゃみなどの飛沫感染です。

侵襲性肺炎球菌感染症は、この肺炎球菌が免疫力の低下などの要因で侵襲性感染(本来無菌である部分から菌が分離される)し、血液や髄液から肺炎球菌が検出された場合をいい、発熱等の初期症状に続き敗血症や髄膜炎など重症化や死亡に至る場合もあります。

予防対策として、肺炎球菌感染症の好発年齢である5歳未満の小児と65歳以上(一部60歳以上)の成人を対象として、肺炎球菌ワクチンの定期接種が実施されています。小児(生後2月から60月(5歳)未満)は無料、65歳以上(一部60歳以上)は原則として自己負担となり、いずれも京都市予防接種協力医療機関で接種できます。予防接種の詳細については、以下のURLを参照してください。

○京都市が実施する子どもの定期予防接種について(京都市情報館)

<https://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000130799.html>

○高齢者肺炎球菌ワクチンの定期の予防接種について(京都市情報館)

<https://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000171591.html>

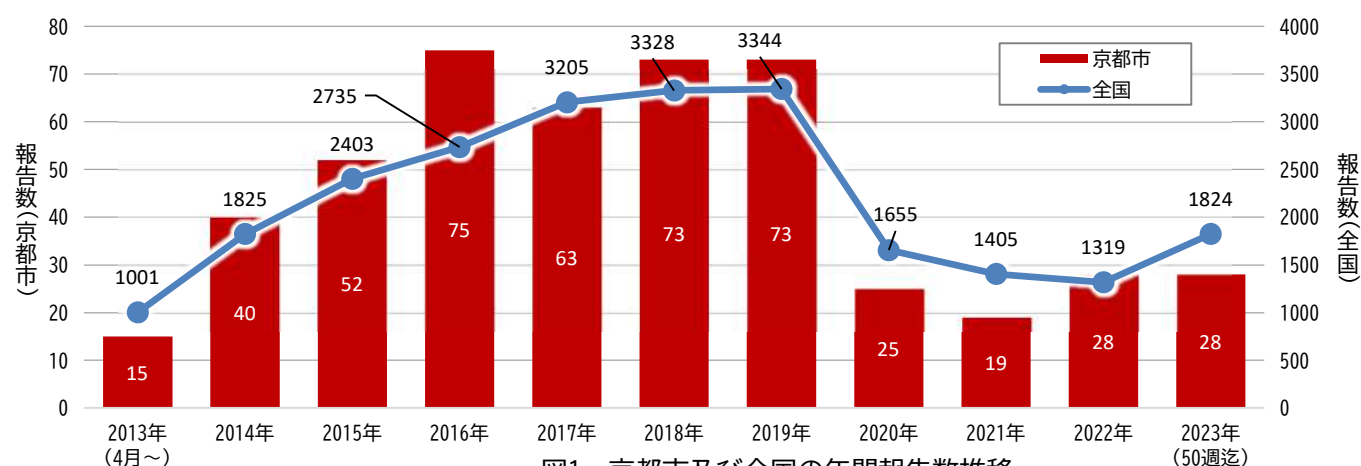


図1. 京都市及び全国の年間報告数推移

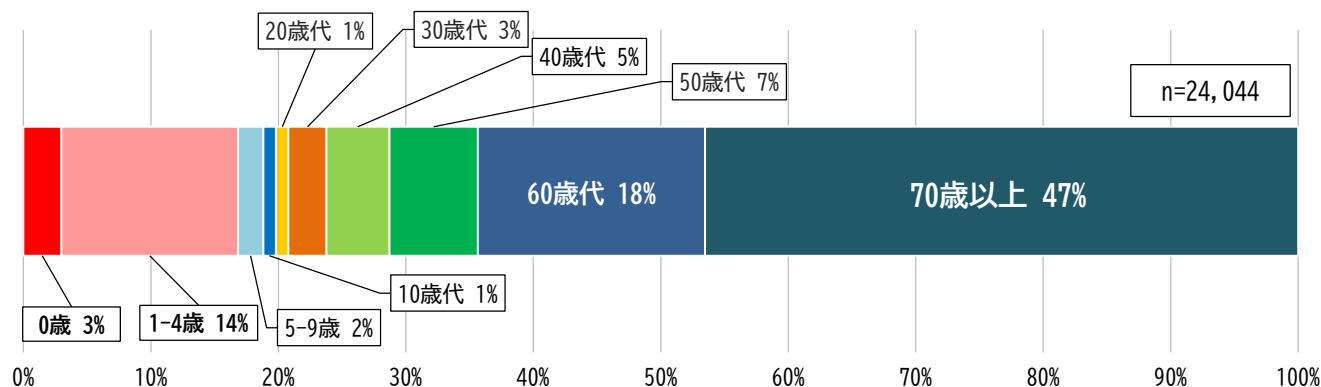


図2. 全国の年齢階級別割合(2013年4月～2023年第50週)

報告数		2023年 第50週（2023/12/11～2023/12/17）							データ取得日：2023年12月20日				
		北	上京	左京	中京	東山	山科	下京	南	右京	伏見	西京	京都市計
定点区分	インフル/COV19（定点医療機関数）	7	5	7	5	3	7	2	6	8	11	8	69
	（報告医療機関数）	7	5	7	5	3	7	2	6	8	11	8	69
インフル COV19	インフルエンザ(※ 1)	60	96	162	107	60	162	48	243	184	373	163	1,658
	新型コロナウイルス感染症(※ 2)	11	14	15	6	10	47	12	45	24	25	23	232
	小児科（定点医療機関数）	4	3	4	3	2	5	1	4	5	7	5	43
	（報告医療機関数）	4	3	4	3	2	5	1	4	5	7	5	43
小児科	R Sウイルス感染症	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	咽頭結膜熱	1	2	11	4	-	5	-	13	38	20	27	121
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	3	5	9	3	1	22	-	31	61	42	7	184
	感染性胃腸炎	2	1	29	2	9	21	-	39	38	70	43	254
	水痘	-	-	-	1	-	-	-	1	-	4	1	7
	手足口病	-	5	-	-	-	1	-	1	2	5	1	15
	伝染性紅斑	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	突発性発しん	-	-	2	-	-	1	-	-	1	-	-	4
	ヘルパンギーナ	-	-	-	6	-	-	-	-	1	-	-	7
	流行性耳下腺炎	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1
	眼科（定点医療機関数）	1	1	1	2	…	1	…	…	1	2	1	10
眼科	（報告医療機関数）	1	1	1	2	…	1	…	…	1	2	1	10
	急性出血性結膜炎	-	-	-	-	…	-	…	…	-	-	-	-
	流行性角結膜炎	-	-	-	-	…	-	…	…	-	-	-	-
	基幹（定点医療機関数）	…	…	…	1	…	…	…	…	…	…	…	1
	（報告医療機関数）	…	…	…	1	…	…	…	…	…	…	…	1
基幹	細菌性髄膜炎(※ 3)	…	…	…	-	…	…	…	…	…	…	…	-
	無菌性髄膜炎	…	…	…	-	…	…	…	…	…	…	…	-
	マイコプラズマ肺炎	…	…	…	-	…	…	…	…	…	…	…	-
	クラミジア肺炎(オウム病除く)	…	…	…	-	…	…	…	…	…	…	…	-
	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	…	…	…	-	…	…	…	…	…	…	…	-

定点当たり報告数		北	上京	左京	中京	東山	山科	下京	南	右京	伏見	西京	京都市計
インフル COV19	インフルエンザ(※ 1)	8.57	19.20	23.14	21.40	20.00	23.14	24.00	40.50	23.00	33.91	20.38	24.03
	新型コロナウイルス感染症(※ 2)	1.57	2.80	2.14	1.20	3.33	6.71	6.00	7.50	3.00	2.27	2.88	3.36
小児科	R Sウイルス感染症	-	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.02
	咽頭結膜熱	0.25	0.67	2.75	1.33	-	1.00	-	3.25	7.60	2.86	5.40	2.81
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.75	1.67	2.25	1.00	0.50	4.40	-	7.75	12.20	6.00	1.40	4.28
	感染性胃腸炎	0.50	0.33	7.25	0.67	4.50	4.20	-	9.75	7.60	10.00	8.60	5.91
	水痘	-	-	-	0.33	-	-	-	0.25	-	0.57	0.20	0.16
	手足口病	-	1.67	-	-	-	0.20	-	0.25	0.40	0.71	0.20	0.35
	伝染性紅斑	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	突発性発しん	-	-	0.50	-	-	0.20	-	-	0.20	-	-	0.09
	ヘルパンギーナ	-	-	-	2.00	-	-	-	-	0.20	-	-	0.16
	流行性耳下腺炎	-	-	-	0.33	-	-	-	-	-	-	-	0.02
	眼科（定点医療機関数）	1	1	1	2	…	1	…	…	1	2	1	10
眼科	（報告医療機関数）	1	1	1	2	…	1	…	…	1	2	1	10
	急性出血性結膜炎	-	-	-	-	…	-	…	…	-	-	-	-
	流行性角結膜炎	-	-	-	-	…	-	…	…	-	-	-	-
	細菌性髄膜炎(※3)	…	…	…	-	…	…	…	…	…	…	…	-
	無菌性髄膜炎	…	…	…	-	…	…	…	…	…	…	…	-
基幹	マイコプラズマ肺炎	…	…	…	-	…	…	…	…	…	…	…	-
	クラミジア肺炎(オウム病除く)	…	…	…	-	…	…	…	…	…	…	…	-
	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	…	…	…	-	…	…	…	…	…	…	…	-

※ 1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く。

※ 2 病原体がベータコロナウイルス属のコロナウイルス（令和2年1月に中華人民共和国から世界保健機関に対して、ヒトに伝染する能力を有することが新たに報告されたものに限る。）であるものに限る。

※ 3 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

報告数

2023年 第50週（2023/12/11～2023/12/17）

データ取得日：2023年12月20日

インフルエンザ/COVID-19定点 （報告医療機関数69）	総数	～6 ヶ月	～12 ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～ 14歳	15～ 19歳	20～ 29歳	30～ 39歳	40～ 49歳	50～ 59歳	60～ 69歳	70～ 79歳	80歳 以上
インフルエンザ(※1)	1,658	5	7	39	53	69	68	77	97	71	79	97	384	167	109	89	107	69	33	24	14
新型コロナウイルス感染症(※2)	232	1	4	4	1	2	2	2	2	2	4	-	14	9	25	19	27	27	26	29	32

小児科定点 （報告医療機関数43）	総数	～6 ヶ月	～12 ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～ 14歳	15～ 19歳	20歳 以上
R Sウイルス感染症	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	121	-	1	14	18	23	13	18	7	10	6	3	5	2	1
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	184	-	1	5	19	13	26	17	21	18	17	19	19	3	6
感染性胃腸炎	254	2	12	34	21	25	27	28	17	14	19	14	21	7	13
水痘	7	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	3	2	-	-
手足口病	15	-	2	4	-	2	6	-	1	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん	4	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	7	-	-	-	1	1	-	1	2	1	-	-	1	-	-
流行性耳下腺炎	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-

眼科定点 （報告医療機関数10）	総数	～6 ヶ月	～12 ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～ 14歳	15～ 19歳	20～ 29歳	30～ 39歳	40～ 49歳	50～ 59歳	60～ 69歳	70歳 以上
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

基幹定点 （報告医療機関数1）	総数	0歳	1～ 4歳	5～ 9歳	10～ 14歳	15～ 19歳	20～ 24歳	25～ 29歳	30～ 34歳	35～ 39歳	40～ 44歳	45～ 49歳	50～ 54歳	55～ 59歳	60～ 64歳	65～ 69歳	70歳 以上
細菌性髄膜炎(※3)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎(オウム病除く)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

定点当たり報告数

インフルエンザ/COVID-19定点	総数	～6 ヶ月	～12 ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～ 14歳	15～ 19歳	20～ 29歳	30～ 39歳	40～ 49歳	50～ 59歳	60～ 69歳	70～ 79歳	80歳 以上
インフルエンザ(※1)	24.03	0.07	0.10	0.57	0.77	1.00	0.99	1.12	1.41	1.03	1.14	1.41	5.57	2.42	1.58	1.29	1.55	1.00	0.48	0.35	0.20
新型コロナウイルス感染症(※2)	3.36	0.01	0.06	0.06	0.01	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03	0.06	-	0.20	0.13	0.36	0.28	0.39	0.39	0.38	0.42	0.46

小児科定点	総数	～6 ヶ月	～12 ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～ 14歳	15～ 19歳	20歳 以上
R Sウイルス感染症	0.02	-	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	2.81	-	0.02	0.33	0.42	0.53	0.30	0.42	0.16	0.23	0.14	0.07	0.12	0.05	0.02
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	4.28	-	0.02	0.12	0.44	0.30	0.60	0.40	0.49	0.42	0.40	0.44	0.44	0.07	0.14
感染性胃腸炎	5.91	0.05	0.28	0.79	0.49	0.58	0.63	0.65	0.40	0.33	0.44	0.33	0.49	0.16	0.30
水痘	0.16	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	0.02	0.07	0.05	-	-
手足口病	0.35	-	0.05	0.09	-	0.05	0.14	-	0.02	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん	0.09	-	-	0.09	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	0.16	-	-	-	0.02	0.02	-	0.02	0.05	0.02	-	-	0.02	-	-
流行性耳下腺炎	0.02	-	-	-	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-

眼科定点	総数	～6 ヶ月	～12 ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～ 14歳	15～ 19歳	20～ 29歳	30～ 39歳	40～ 49歳	50～ 59歳	60～ 69歳	70歳 以上
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

基幹定点	総数	0歳	1～ 4歳	5～ 9歳	10～ 14歳	15～ 19歳	20～ 24歳	25～ 29歳	30～ 34歳	35～ 39歳	40～ 44歳	45～ 49歳	50～ 54歳	55～ 59歳	60～ 64歳	65～ 69歳	70歳 以上
細菌性髄膜炎(※3)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎(オウム病除く)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く。
※2 病原体がベータコロナウイルス属のコロナウイルス（令和2年1月に中華人民共和国から世界保健機関に対して、ヒトに伝染する能力を有することが新たに報告されたものに限る。）であるものに限る。
※3 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

報告数		2023年 第40週 ～ 2023年 第50週										データ取得日：2023年12月20日	
		疫学週	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50
			(10週前)	(9週前)	(8週前)	(7週前)	(6週前)	(5週前)	(4週前)	(3週前)	(2週前)	(1週前)	(今週)
定点区分	インフル/COV19（定点医療機関数）		69	69	69	69	69	69	69	69	69	69	69
	（報告医療機関数）		69	69	69	69	69	69	69	69	69	69	69
インフル COV19	インフルエンザ（※1）		514	599	872	999	935	852	898	1,108	1,135	1,584	1,658
	新型コロナウイルス感染症（※2）		313	221	170	138	135	127	86	129	161	189	232
	小児科（定点医療機関数）		43	43	43	43	43	43	43	43	43	43	43
	（報告医療機関数）		43	43	43	43	43	43	43	43	43	43	43
小児科	R Sウイルス感染症		5	1	3	-	1	1	-	-	-	-	1
	咽頭結膜熱		143	91	138	139	110	151	178	161	145	167	121
	A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎		95	81	110	107	106	149	160	157	162	187	184
	感染性胃腸炎		92	88	102	116	127	134	175	169	192	193	254
	水痘		1	2	2	2	2	8	4	12	5	6	7
	手足口病		44	29	22	12	19	18	11	9	8	13	15
	伝染性紅斑		-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-
	突発性発しん		5	3	9	9	4	9	7	4	4	2	4
	ヘルパンギーナ		8	10	10	5	4	2	3	3	2	7	7
	流行性耳下腺炎		1	2	-	-	3	-	-	-	2	2	1
	眼科（定点医療機関数）		10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10
	（報告医療機関数）		10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10
眼科	急性出血性結膜炎		-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
	流行性角結膜炎		3	-	6	4	4	9	9	2	5	6	-
	基幹（定点医療機関数）		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	（報告医療機関数）		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
基幹	細菌性髄膜炎(※3)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	マイコプラズマ肺炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	クラミジア肺炎(オウム病除く)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	感染性胃腸炎(ロタウイルス)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

定点当たり報告数		疫学週	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50
			(10週前)	(9週前)	(8週前)	(7週前)	(6週前)	(5週前)	(4週前)	(3週前)	(2週前)	(1週前)	(今週)
インフル COV19	インフルエンザ（※1）		7.45	8.68	12.64	14.48	13.55	12.35	13.01	16.06	16.45	22.96	24.03
	新型コロナウイルス感染症（※2）		4.54	3.20	2.46	2.00	1.96	1.84	1.25	1.87	2.33	2.74	3.36
小児科	R Sウイルス感染症		0.12	0.02	0.07	-	0.02	0.02	-	-	-	-	0.02
	咽頭結膜熱		3.33	2.12	3.21	3.23	2.56	3.51	4.14	3.74	3.37	3.88	2.81
	A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎		2.21	1.88	2.56	2.49	2.47	3.47	3.72	3.65	3.77	4.35	4.28
	感染性胃腸炎		2.14	2.05	2.37	2.70	2.95	3.12	4.07	3.93	4.47	4.49	5.91
	水痘		0.02	0.05	0.05	0.05	0.05	0.19	0.09	0.28	0.12	0.14	0.16
	手足口病		1.02	0.67	0.51	0.28	0.44	0.42	0.26	0.21	0.19	0.30	0.35
	伝染性紅斑		-	-	0.02	-	0.02	-	-	-	-	-	-
	突発性発しん		0.12	0.07	0.21	0.21	0.09	0.21	0.16	0.09	0.09	0.05	0.09
	ヘルパンギーナ		0.19	0.23	0.23	0.12	0.09	0.05	0.07	0.07	0.05	0.16	0.16
	流行性耳下腺炎		0.02	0.05	-	-	0.07	-	-	-	0.05	0.05	0.02
眼科	急性出血性結膜炎		-	-	-	-	0.20	-	-	-	-	-	-
	流行性角結膜炎		0.30	-	0.60	0.40	0.40	0.90	0.90	0.20	0.50	0.60	-
基幹	細菌性髄膜炎(※3)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	マイコプラズマ肺炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	クラミジア肺炎(オウム病除く)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	感染性胃腸炎(ロタウイルス)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く。
※2 病原体がベータコロナウイルス属のコロナウイルス（令和2年1月に中華人民共和国から世界保健機関に対して、ヒトに伝染する能力を有することが新たに報告されたものに限る。）であるものに限る。
※3 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

